

## (議事要旨 2) 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

企業会計基準委員会 (ASBJ) の都常勤委員より、ASBJ の最近の活動状況についての報告がなされ、また、審議中の個別プロジェクトの状況として、企業結合ステップ 2 の説明がなされた。その後、以下のとおり、基準諮問会議の委員より意見及び質問が出された。

- 企業結合における「支配の喪失」の論点については、連結財務諸表における考え方と個別財務諸表における考え方を、よく整理する必要がある。
- 実務における段階取得の適用状況の検証とは、どのようなことを想定しているのか。  
(ASBJ によるコメント) 支配の獲得あるいは喪失時に、投資の性質が変化しているか否かという点などをヒヤリングする予定である。
- 支配の喪失に関する会計処理について、取得時における取扱いについては理論的には段階法の考え方が正しく、一括法は簡便的な処理であると考えられる。よって、取得時と売却時の取扱いは、必ずしも対称性は求められないのではないか。したがって、取得時の処理との整合性よりも、他の基準との整合性という観点に重点をおいて検討すべきではないか。
- 少数株主との取引の考え方の変更に関して、資本の範囲の概念をどう整理するのか懸念している。我が国の概念フレームワークの討議資料で検討した枠組みの中で整理すべきではないか。
- 当期純利益という用語は、日本において定着している概念であり、同じ用語を用いて異なる内容を表すことで混乱をきたす可能性がある。別の名称を検討してはどうか。また、少数株主という名称を非支配株主へ切り替えることについても、少数株主という名称の概念は定着していると考えられるため、強い理由がない限り、名称を変えない方がよいのではないか。

これらの意見を受け、議長から、頂いたコメントを ASBJ に報告をする旨の発言がなされた。

以 上